

恐れるな!

アミール・ツアルファティ

-イザヤ43章1節~7節からのメッセージ-

https://youtu.be/H70E_G6N_VM

皆さん、こんにちは。アミール・ツアルファティです。ガリラヤよりライブを行っています。私のすぐ後ろには、ハルマゲドンの谷や丘が周りに見えます。今日、こちらは良いお天気です。しかし、世界は残念ながら良くないもの、美しくないものに苦しんでいます。コロナウィルスのパンデミックは、現在188以上の国に影響を及ぼして、それに伴い、多くの恐怖と不安をもたらしています。

さて、これはとても小さなミクロの敵で、最終的には、私たちはそれを克服して、それとの戦い方を理解し、そして、それを乗り越えていくと信じています。過去に、他のウィルスで行ったように。これは長い戦いになりそうです。しかし、この戦いは、人類を絶滅させるようなものではありません。これは、人々が家から追い出されたり、虐殺されたり、異国の地に連れて行かれるような戦いではありません。どちらかと言えば、このウィルスによって、実際に人々は家に駆け込み、部屋に閉じこもっています。

そこで、歴史の中のある時代にさかのぼりたいと思います。イスラエルの民が大虐殺されようとしていた時です。北から来た敵によって、完全に絶滅させられる寸前でした。預言者たちは、いつも言いました。「北から、わざわざ襲う」エジプトが助けに来てくれると信頼したイスラエルは、準備ができておらず、そして、確かに紀元前722年、イスラエルの北の王国、ヤロブアム王のもと、南部から分離した10部族の王国は敗北し、その王国は滅びました。アッシリア人の次の標的は、もちろんエルサレムの都とユダ王国です。それが、今回私たちが見る時代です。

預言者イザヤは、紀元前8世紀後半の40年間、預言しました。女預言者と結婚したこの預言者には、実際、二人の息子がいて、彼らの名前は非常に興味深く、預言的でした。長子は、もちろん「シャアル・ヤシュブ」。これはイザヤ書7章3節にあって、「残りの者は立ち返る」という意味です。そして二人目は、「マヘル・シャルル・ハシュ・バズ」イザヤ書8章1節から4節。意味は、「分捕りは早く、略奪はすみやかに来る」そして、面白いのは彼が預言者と結婚しただけではなく、彼には二人の息子がいて、その息子の名前が、イスラエルの過去と未来を反映していたのです。外から来た敵によって略奪され、奪われた過去。しかし、それだけではなく、残りの者がイスラエルの地に帰るといふ、美しい約束もあります。見てください。私は今、ここにいます。2000年の間、この国から離れて後、ユダの部族の残りの者が、ここ、イスラエルの地にあるハルマゲドンの谷に座り、テクノロジーを使って、イスラエルに関するメッセージを伝えています。それが、預言者イザヤの言葉を見れば、かなり驚くのです。

さて、中には驚かれる方がいるかもしれませんが。しかし、イザヤ書には66章があって、そして、もちろんすべての章が分割されたのは後のことで、預言者がこの書を書いた時ではありません。しかし、なかなか面白いのが、66の章のうち、最初の39章は、実際にはイスラエルに対する神の裁きを語っているのです。彼らが、神の律法と神の御言葉に従っていなかったから。そして、後半の29章は、イスラエルの国を通して与えられる大きな慰め、偉大なあわれみとすばらしい未来です。そして、それが面白いことに、何年もの間、イザヤ書の最初の部分とイザヤ書の後半に、多くの聖書学者は混乱していました。中には、二つの異なるイザヤ書があったのだ、という人もいるほどです。二人の異なる預言者、二人の違う人物が、二冊の異なる本を書いたのだ。それを、我々が誤って、ひとりの預言者によって書かれた一つの書であると呼んでしまったのだ、と。もちろん、私はそれに賛成しません。私が信じているのは、1947年に、2200年前のイザヤ書の巻き物がクムランで発見された時、これが、二冊の異なる書であると思っていた人には、大打撃だったはず。なぜなら、イザヤ書全体、最初の単語から最後の単語まで、すべてが、一つの巻き物に収まり、クムランの洞窟で見つかった一つの土の器の中に入っていたのです。そして、それはもちろん、ひとりの預言者がいて、一つの書を書いたという主な証拠です。そして、この書には神の裁きと、神の慈悲の両方が書かれています。旧約聖書と新約聖書が一つの書であり、それらすべてが神の御言葉であるのと同様、それらを切

り離して、“これは私に対するものではなく、これは私のためだ”と言うことはできません。そこには神の道があり、神の律法があり、神の裁きがあります。そして神の慈悲があり、そこから、神からの希望を得ることができのです。しかし、もちろん古いものと新しいもの、希望と平和とのつながりは、古いものと新しいもの、希望とのつながりは、イエスご自身にあります。彼は旧約聖書の人々が、神の基準を満たす妨げとなった罪の問題の解決策を提供するために、この世に來られました。そして、それはまた、預言者イザヤが、とても独特である理由です。なぜなら、彼は旧約聖書の預言者でしたが、彼は、ヘブル人で、彼が生きている間にイエスの誕生を見ることはありませんでした。しかし彼はイエスの誕生を語り、イエスの生涯を語り、イエスの贖いの死について語り、イエスの復活について語りました。彼は将来的な、この地上でのイエスの御国のことを話しました。また彼は、彼が知っていることを証しました。彼自身が、いつの日か復活することを。

さて、これから皆さんを、当時にお連れしたいと思います。なぜなら、現在、私たちは小さなミクロの敵と戦っていますから。混乱と恐怖と不安をまき散らしている、小さな小さなウィルス。しかし、それでも私たちは皆、家の中に逃げ込むことができます。私たちは皆、冷蔵庫に入っているものを食べることができます。家族みんなで、一緒にいることができます。私たちのだれひとりとして、宗教を変えるように命じられていません。または、あなたの国に攻め込んでくる他の国によって虐殺されたり、奴隷にされることもありません。ということで、皆さん、理解してください。今、イスラエルは北からの脅威に苦しんでいます。そして預言者イザヤは、イスラエルの民の前に立ち、そして、彼らに大きな慰めとすばらしい未来を与えています。さて、43章で彼が言っていることを見てください。それから、この章の最初の7節に触れてみます。

だが、今、ヤコブよ。あなたを造り出した方、主はこう仰せられる。イスラエルよ。あなたを形造った方、主はこう仰せられる。

あなたを創造し、あなたを形造られた同じ神です。前回、私が確認した時には、神がすべての人を創造されました。彼は、すべての人を形造られました。神は、すべての人を形造られました。詩篇139編に行ってください。ひとりひとりの人間が、主によって母の胎内に形成されました。そして、神の書物にすべてが書きしるされました。私のために作られた日々が、その一日もないうちに。たしかに、彼はヤコブのことを話し、イスラエルのことを話しています。しかし覚えておいてください。このメッセージは、紀元前8世紀のイスラエルの国をはるかに超えて、こだましています。そして、彼が言っていることを見てください。

恐れるな。わたしがあなたを贖ったのだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。あなたが水の中を過ぎるときも、わたしはあなたとともにおり、川を渡るときも、あなたは押し流されない。火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎はあなたに燃えつかない。わたしが、あなたの神、主、イスラエルの聖なる者…

見てください。「わたしが、イスラエルの聖なる者、私が神である」「わたしは、天地の創造主である」そして、「わたしは、その国を取り分けた神である」しかし、彼は言われます。「(わたしが)あなたの救い主であるからだ」あなたが今、どこにいるのか私には分かりません。しかし、あなたは、世の創造主を信じる必要があります。その名は、イスラエルの神。しかし彼は、あなたの個人的な救世主でもあります。そして、彼は言います。

わたしは、エジプトをあなたの身代金とし、クシュとセバをあなたの代わりとする。わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。だからわたしは人をあなたの代わりにし、国民をあなたのいのちの代わりにするのだ。恐れるな。(彼は再び言われます) わたしがあなたとともにいるからだ。わたしは東から、あなたの子孫を来させ、西から、あなたを集める。わたしは、北に向かって『引き渡せ。』と言い、南に向かって『引き止めるな。』と言う。わたしの子らを遠くから来させ、わたしの娘らを地の果てから来させよ。わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、わたしがこれを創造し、これを形造り、これを造った。(イザヤ43章1節から8節)

ですから、ご覧の通り、私たちが見たイザヤ書43章の美しい7つの節は、イスラエルの過去と現在と未来のことです。しかし、それは世界中でイスラエルの主なる神を信じるすべての人への個人的なメッセージになります。これは、個人的なメッセージです。私たちが確実に知るように、主ご自身が確認しておられるのです。彼が天と地の創造主、完璧な世界を造られた方、神がすべてを創造されたとき、すべて完璧でした。しかし、私たちがそれを台無しにしたのです。罪が世に入りました。そして、洪水が来ました。その時、完璧だったものは、もはや完璧ではなくなり、私たちは、それに苦しんでいます。人々はそれを“地球温暖化”とか“気候変動”と呼びますが、しかし、それは罪です。そういうことです。私たちが、罪の唯一の解決策を認めるまで。それは、そのすべてを支払ってくださったキリストへの信仰です。私たちには、この場所を直すことは絶対にできません。ところで今、それほど完璧だったら、なぜ神は、最後に新しい天と地をお造りになるのでしょうか?という事で、私たちが、現在の世界を損ないました。そして今、私たちが経験しているウィルス、このパンデミックは、いまこの惑星の、この特定の欠陥の一部です。ウィルスとか病気とか、そういうものは、この世界が洪水を経験する前は、存在しなかったのです。

次に、興味深いことに、主はイザヤを通して語られました。さて、私は、神はだれにでも語る事ができると信じています。しかし、国家や全世界に対するこのようなメッセージは、神は預言者を通して語られました。また、今日、自らを“預言者”と自称するのが流行っているのも知っています。預言の学校に行ったり、スーパーナチュラル（超自然）の学校に行ったり。だれでも、そのようなことができると本当に思っている。それは、預言の賜物と預言者の職を混同しているからです。ところで、もしも預言者が、歴史を通して今日まで存在するものであれば、では、なぜ神は、新約聖書の中で言われたのか。

あなたがた（教会）は使徒と預言者という土台の上に建てられており（エペソ2章20節）

ですから、まさに神の声を直接聞いた人たち、イエスを直接見た使徒たちの上に、教会が建てられなければなりません。面白いことに、第2ペテロ1章20節から21節には、こう書かれています。

何よりも、次のことを知っていなければいけません。すなわち、聖書の預言はみな、人の私的解釈を施してはならない、ということです。なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。（第2ペテロ1章20節から21節）

ですから、これが非常に美しいのは、ご覧の通り、ここに人間が関わっていないのです。人間は、神が語られるための、ただのツールに過ぎません。神の聖霊が、全国に向けて語られるのです。彼によると、これは特定の人々、聖霊に動かされた人たちであり、人の私的解釈を施してはならない。彼らは、他の何でもなく、聖霊に動かされたのです。もちろん、聖霊が彼らを動かし、これらの預言は、決して、人間の意志によってもたらされたものではありません。だから、私たちが聖書を読むときは、一字一句読み、一字一句聖書を学び、聖書を意識解釈しないことが非常に重要なのです。そうすると、あなたは実際に人間の解釈に陥りますから。ということで、面白いことに、彼はヤコブとイスラエルの民について話し始め、そして、この預言の時には、ヤコブもその子孫のイスラエルも、神が誇れるようなものは、何も生み出していません。つまり、預言者イザヤの時代、イスラエルの霊的な状態は良いものではなく、そのため、最初の39章は、神の厳しい裁きが多かったのです。さて、神は大混乱から逃れる道を教えることなく人を裁いたり、苦しめることはありません。希望のある場所。あなたが本当に平和を見つけることができる場所。ということで、国家としてのイスラエルは完全ではありませんでした。最近、多くのクリスチャンが考えています。

「イスラエルがキリストを拒絶したので、神はイスラエルのことを忘れてしまった」

人が、この信念を持って行動するたびに、もし神は、彼らを永遠に退けてしまったと考えるなら、80%ではないにしても、今日の教会の半分は、神の前に立つことができないでしょう。皆さん、説明させてください。神は、イスラエルのことは絶対に忘れません。神は、彼らが完璧でないことを理解した上で、彼はまだ、希望と平和のメッセージを持っておられるのです。しかし、その希望と平和はひとりの人の中にある。それが、このメッセージのすべてです。いまこの世界が、いま直面しているこのコロナウィルスの危機でさえ、あなたは世界のどこにも、平和の君、平和の主による神の平安以外には、絶対に平安を見いだせません。そして、また面白いことに、そのメッセージの中で聖書は言っています。神は、完璧を求めているだけでなく、

しかし、主は常に従順を求めておられる、と。従順は、いつも神への犠牲に優^{まさ}ります。彼は、預言者サムエルに、そう言われました。そして歴史を通して、イスラエルの宗教的な行動に、神がいかに興味がなかったかが分かります。彼らの心がそこになかったから。イザヤ書の1章を私は若い頃に初めて読んで、衝撃を受けました。なぜなら、神は文字通り言われたのです。

あなたがたの新月の祭りや例祭を、わたしの心は憎む。(イザヤ1章14節)

だから、私は思ったのです。「あなたが、あなたの民に与えたものを、どうして憎むことができるのですか」とすると、主は続けて預言者イザヤに与えられた御言葉を通して語りかけてくださいました。主は言われます。「あなたの手は血まみれだ。なのに、どうしてそんなことができるのか？」主は言われます。「あなたに必要なのは悔い改めだ。それらの悪を洗え。身をきよめよ。わたしに立ち返れ。そうすれば、わたしは、あなたの声を聞こう」ということで、確かに、主は完璧を求めておられません。彼は間違いなく従順を求めておられ、神は、人を使うことができ、国を使うことができます。時には国家を利用して、別の国へ裁きをもたらします。ちなみに、エジプトとアマレクのどちらとも、それからモアブとペリシテ。もちろん、アッシリアやバビロン、これらの国のすべてが、彼らがイスラエルに攻めてきたとき、神が驚いたと思いますか？もちろん、そうではありません。神は、彼らがそれを行うのを許可されたのです。しかし同時に、そのようなことをしたために、彼らを裁かれました。イスラエルへの憎しみを彼らの心に植え付けたのは、神ではありませんから。主は、彼らのすることを許されたが、彼らが心に抱いていた憎しみのために、彼らを裁きました。面白いのは、詩篇14編が告げているのです。

愚か者は心の中で、『神はいない。』と言っている。彼らは腐っており、忌まわしい事を行っている。善を行う者はいない。主は天から人の子らを見おろして、神を尋ね求める、悟りのある者がいるかどうかをご覧になった。彼らはみな、離れて行き、だれもかれも腐り果てている。善を行う者はいない。ひとりもない。(詩篇14編1節から3節)

だから間違いなく、イザヤの時代、イスラエルは完璧ではありませんでした。他の世界も完全ではありません。ちなみに、今日もです。「善を行う者はいない」皆さん、理解しないといけません。なぜなら、詩篇14章と同じ真理が、ローマ人への手紙にもあります。全世界のすべての人々に関する真理です。ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、値なしに義と認められるのです。(ローマ3章24節)そして、聖書によると、神はいつも私たちのために、そこにおられたのです。ただふり返るだけで十分です。彼は、当時の世界で最も恐ろしい超大国から、まさに攻撃を受けようとして、怯えている国に言われます。そして、この超大国は非常に邪悪で、残酷に敵を扱う事で有名でした。そして、主は彼らに思い出させているのです。「ほら、覚えているか？あなたが水の中を過ぎるときも、わたしはあなたとともにいた」おもしろいのは、なぜ彼は、それを言及したのか。それは、出エジプト記14章の話に戻れば、イスラエルの民が紅海の水の中を歩きました。そして、私たちは、みんな知っています。海が分かれた。ちなみに今日でも、紅海の両側、エジプト側からサウジ側までの間に、陸続きの橋があるのです。だれも説明できない、その陸橋。紅海横断を記念したソロモン王の時代の柱が、かつて両側にあった、その陸橋。そのため、イスラエルの民は、はるかに深い海の底まで行く必要がなかったのです。陸橋がもっと高い所にあつて、彼らは通過する事ができました。そして神は、そこにいたのです。出エジプト記14章19節を、お読みします。

ついでイスラエルの陣営の前を進んでいた神の使いは、移って、彼らの後を進んだ。それで、雲の柱は彼らの前から移って、彼らのうしろに立ち、エジプトの陣営とイスラエルの陣営との間にはいった。それは真暗な雲であったので、夜を迷い込ませ、一晩中、一方が他方に近づくことはなかった。

(出エジプト記14章19節から20節)

「イスラエルの陣営の前を進んでいた神の使い」イエスが、そこにおられました。これは“クリストファーニー”、これは旧約聖書における、キリストの顕現です。彼がそこにいたことを、私たちは知っています。「世界の基の置かれる前から、彼はそこにおられた」と聖書は言います。ということで、ここでは多くの場合、

聖書が「主の使い」という時、繰り返しますが、これは特定の御使いではありません。これは、多くがイエスの顕現の総称です。名前がある御使いなら、当然イエスではありません。しかし、ここでは主の使いが陣営の前を行っています。美しいです。それはすばらしいことです。なぜなら、イエスはそこにただけでなく、彼が、そこにただけではありません。その後も聖書は続きます。そして、見ての通り、彼は「あなたがたが川を渡るとき」と言っています。ヨシュア記4章23節。

あなたがたの神、主は、あなたがたが渡ってしまうまで、あなたがたの前からヨルダン川の水をからしめてくださった。ちょうど、あなたがたの神、主が葦の海になされたのと同じである。それを、私たちが渡り終わってしまうまで、私たちの前からからしめてくださったのである。それは、地のすべての民が、主の御手の強いことを知り、あなたがたがいつも、あなたがたの神、主を恐れるためである。(ヨシュア4章23節)

エリコ陥落の5章13節では、

ヨシュアがエリコの近くにいたとき、目を上げて見ると、ひとりの人が抜き身のつるぎを手に持ち、こちらに向かって立っていたので、ヨシュアはその人のところへ行って言った。「あなたはわれわれを助けるのですか。それともわれわれの敵を助けるのですか」彼は言った。「いや、わたしは主の軍勢の将として今きたのだ」ヨシュアは地にひれ伏して…一ひれ伏すのは、常に神に対してのみです…言った。『わが主は何をしもべに告げようとされるのですか』。すると主の軍勢の将はヨシュアに言った。『あなたの足のくつを脱ぎなさい。あなたが立っている所は聖なる所である』。ヨシュアはそうにした。
(ヨシュア記5章13節から15節)

これは、燃える柴の中で、モーセが聞いたことではないですか？それで足りないなら、もちろんシャドラク、メシャク、アベド・ネゴです。ダニエル書3章25節。

だが、私には、火の中をなわを解かれて歩いている四人の者が見える。しかも彼らは何の害も受けていない。第四の者の姿は神々の子のようだ。(ダニエル3章25節)

“神々の子”という訳もあれば、“神のように見えた”という訳もあります。皆さん、イエスは、この三人と一緒に、そこにいました。彼は言われます。「火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎はあなたに燃えつかない」川を渡ってヨルダンに来た時、彼は、そこにいたのです。陣営が紅海を渡った時、彼は、その場におられました。彼は、そこにおられ、そして、その同じイエスが、今、イスラエルの帰還を命じておられ、そして、その同じイエスが、今は、あなたに命じておられます。あなたがどこに住んでいようと、「恐れるな。わたしがあなたと共にいる」。だから、詩篇23章は、こう言っているのです。「たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませぬ。あなたが私とともにおられますから」ダビデは、それを理解していたのです。

あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。(詩篇23章4節)

イザヤ35章は言います。

心騒ぐ者たちに言え。「強くあれ、恐れるな。見よ、あなたがたの神を。復讐が、神の報いが来る。神は来て、あなたがたを救われる。(イザヤ35章4節から6節)

神は、そこにいて、神の民を見守っておられます。そして、もちろん第2テモテ1章7節。

神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。

(第2テモテ1章7節)

この3つが揃っていなければなりません。力、愛、慎みの霊。神の力がなければ、私たちは恐れに打ち勝つことはできません。しかし、愛がなければ、もしあなたが神の力を持ち、慎みの霊を持っていながら、神の愛を持っていなければ、もちろん良くありません。または、あなたが愛を持っていて、力を持っていながら、ひどくパニックになっているなら、あなたは慎みの霊を持っていない。これもまた問題です。

それから彼は言われた。「神は来て、あなた方を救われる」(イザヤ35章4節)

そして興味深いことに、

それゆえ、イスラエル人に言え。「わたしは主である。わたしはあなたがたを、エジプトの苦役の下から連れ出し、労役から救い出す。伸ばした腕と大いなる裁きによってあなたがたを贖う。

(出エジプト6章6節)

神は、イスラエルの民に約束されました。「伸ばした腕で大いなることをする。私はあなたを、エジプトの地から救う」彼は言われます。「私はあなたの名前であなたを呼んだ」面白くないですか?創世記35章9節から12節。

こうしてヤコブがパダン・アラムから帰って来たとき、神は再び彼に現れ、彼を祝福された。神は彼に仰せられた。『あなたの名はヤコブであるが、あなたの名は、もう、ヤコブと呼んではならない。あなたの名はイスラエルでなければならない。それで彼は自分の名をイスラエルと呼んだ。神はまた彼に仰せられた。『わたしは全能の神である。生めよ。ふえよ。一つの国民、諸国の民のつどいが、あなたから出て、王たちがあなたの腰から出る。わたしはアブラハムとイサクに与えた地を、あなたに与え、あなたの後の子孫にもその地を与えよう。』(創世記35章9節から12節)

ヨハネの福音書10章2節から4節。

しかし、門からはいる者は、その羊の牧者です。門番は彼のために開き、羊はその声を聞き分けます。彼は自分の羊をその名で呼んで連れ出します。彼は、自分の羊をみな引き出すと、その先頭に立って行きます。すると羊は、彼の声を知っているのです、彼について行きます。(ヨハネ10章2節から4節)

神があなたを呼ぶ時、あなたが神のものであるなら、神があなたの名前を呼ばれると、その時、あなたは彼について行き、その時、彼が、あなたを導いているのです。当時も今も、彼らと他との違いは、イスラエルと共におられる神の臨在です。見てください。私は今、イスラエルの真ん中において、ここはとても平和です。皆さん、私に同意するでしょう。イスラエルは、地球上で最も脅威にさらされている国のひとつです。他の国々が公然とその国の絶滅を誓い、破壊を誓うのは、世界中で他にありません。また、世は、それでも構わない。国連議会の演壇から、各国がイスラエルの破壊を呼びかけている。それが、私はここにおいて、神の平安があるのは、ここだけではありません。この周辺の至る所に、私は神の平安を見えています。とても面白いのです。イスラエル国家の奇蹟は、神が彼らに言っているのです。「わたしが、彼らを世界の四隅から連れ戻す。わたしは、東西南北に向かって言う」神が、彼らを土地に連れ戻す、と。そして2000年の時を経て、私はここにいます。私は、神の、約束に対する驚くべき真実を証言しているのです。いいですか?神にとって、コロナウィルスが何ですか?何でもなし。何でもありません。しかし、「恐れるな」という方を信頼するのではなく、恐れることをあなたが選ぶなら、あなたの信仰は、どこですか?イスラエルが滅ぼされようとした時に、神は、彼らに「恐れるな」と言っているのです。イスラエルが、まさに捕囚されようとしていた時に、神は、彼らに言われました。「わたしには、まだ計画がある。あなたとの約束を守り、あなたを連れ戻す。あなたがたは、しばらくここを離れるだろう。それは、あなたがたが、70年ごとの安息年を守らなかったからだ。しかし、わたしがあなたがたを連れ戻す」神は、彼らをバビロンから連れ戻されました。しかし彼らは、2000年間、散らされました。そしてその時、神が、彼らを北から、南から、東から、西からも、彼らを連れ戻し始めるのです。それらの節は、ネヘミヤの時代のシオンへの帰還について、神が語ったもので

はあり得ません。当時、彼らはみな、同じ方向に向かっていました。ペルシャ、バビロン、イラク、イラン、アッシリア、あの地域です。ここでは、神が言われます。「わたしは南に、北に、東に、西に向かって言う」これは、現代におけるユダヤ人の帰還です。自分たちの土地に戻って来た。驚きです。イスラエルを通して神が働かれる方法は、間違いなく神が全てであって、他のだれかではありません。イスラエルが全てではありません。私たちは優れていないし、完璧じゃない。しかし、彼は優れていて、彼は完全であり、彼は真実です。私が住んでいる国は…、ときどき私は、ここを「第5の福音書」と呼びます。ときどき、私は言うのです。「土地そのものの語りかけを聞いてください」周りを見てください。後にも先にも他にありません。ユダヤ人が経験したすべてのことを経験し、それから地球上で8番目に強い国になるなんて。イスラエルの首相が、欧州の指導者に電話をかけて、そして呼びかけたのです。「このウィルスは超危険だ。目を覚ましてください。何か対応をして下さい！」そして、オーストリアの首相が、2日ほど前に認めました。彼を目ざめさせ、国境を封鎖する必要を理解させたのは、ベンジャミン・ネタニヤフだった。そして国民を隔離して、なんとかこの全部を止めなければならない、と。呼びかけたのは、世界保健機関（WHO）ではありません。

皆さん。神は真実です。そして、神は、この土地とこの人々を通して、ご自身の真実さを示しておられるのです。これに関して、私は黙っていられません。これは、実際、私の個人的信念です。私は、声を上げなければならない。だからこそ、「ビホールド（見よ）イスラエル」が誕生したのです。“ビホールド・イスラエル”「イスラエルを見よ！」イスラエルを見てください。これが、神の存在の証明ですから。これは、神がすべて彼の約束に対して真実であることを証明しています。だから、私は皆さんを励ましたいと思います。今、あなたにはつらい時期かもしれません。神が、イスラエルを立たせ、生かしておかれた理由は、それによって、あなたに証言するためです。「恐れるな」「たじろくな！」そして、主が彼らと共にいたように、あなたとも共にいてくださることを、あなたに理解させるためです。なぜなら、彼が創造主ですから。彼はヤコブにおっしゃいました。「一つの国民、諸国の民のつどいが、あなた（ヤコブ）から出る。たしかに、彼らは離れ離れになる。そうだ。彼らを通して、わたしは働く。そうだ。彼らを通して、わたしは、わたしの愛を示し、わたしの御言葉を、世にもたらし、わたしは、わたしのメシア、わたしのひとり子を世に与える。わたしは、唯一の神への信仰を世界にもたらす。そうだ。わたしは、彼らを通して、“ねたむ神”である、わたしの性質を示し、そして、あなたがたには他の神々を拜んでほしくないこと、また、それには結果が伴うことを示す。しかし、またたしかに、彼らを通してわたしは告げる。もしあなたがたが、自らへりくだり、祈りをささげ、その悪い道から立ち返るなら、わたしはあなたを赦し、わたしはあなたを抱きしめる」いいですか？神は、決して、破壊や罰を望んでおられません。人間が、自ら、それを自分の身に招いているのです。わたしは、終末時代のことを考えていますが、聖書の第2テサロニケ人への手紙2章に、こう書いてあります。

なぜなら、彼らは、救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。（第2テサロニケ2章10節）

その時、神は、惑わす力を送り込まれます。しかし、主が彼らに惑わしを与えたから、彼らが御言葉を拒絶したわけではありません。主が、彼らに惑わしを与えたのは、彼らが、神の御言葉を拒否したからです。人はいつも逆さまにします。まるで、神が私たちを盲目にして、そして、私たちが真実を見ないことを罰せられるかのように。いいえ。神は、そのひとり子をお与えになったのです。それと、仮に、唯一、イスラエルだけが全てだと考える人がいるなら、イエスが世に来られ、ヨルダン川に向かって歩いておられた時、そこに、ユダヤ人の司祭が立っていました。彼の名はヨハナン、“神は慈悲を与えてくださる”。ヨハネです。あのヨハネ、あのヨハナン、あのすごい人は、彼がその直後に言うことを、だれからも教わったことはありません。しかし、それは純粋な神の啓示でした。彼は、道を備える声でしたから。彼は言いました。

見よ、世の罪を取り除く神の小羊。（ヨハネ1章29節）

イスラエルの罪ではなく、全世界の罪です。これは中国の武漢にいるあなたのため、韓国のソウルにいるあなたのため、シンガポールにいるあなた、ジャカルタにいるあなた、テヘランにいるあなたのためにも、そ

して、それはバグダッド、アンカラ、イスタンブールにいるあなたのため、ベイルートにいるあなた、ダマスカスにいるあなた、ベルリン、フランクフルトのあなたのために、パリ、ロンドンにいるあなたのため、バルセロナ、マドリード、ベルガモ、ミラノ、ローマにいるあなたのためです。ザグレブのあなたのため、ブカレスト、ブダペストのあなたのためです。ニューヨークからロサンゼルスまで、全ての場所にいるあなたのためです。アムステルダム^{アム}のあなたのため、ブリュッセルのあなたのために、メキシコシティのあなたのために、サンパウロのあなたのために、そして、リオデジャネイロのあなた、オーストラリアのあなたのため、シドニー、メルボルン、ブリスベン、パース、オークランドと、他にもたくさんの場所で、オークランド、ニュージーランドのあなた。いいですか。皆さん全員です。

もし、あなたが理解していないなら、この恐れは、神からのものではありません。そして、恐怖と不安を広めている、この巨大な悪魔は、神からのものではありません。神が、私たちにお与えになったのは、おくびょうの霊ではありません。そうではなく?力と愛と慎みとの霊です。(第2テモテ1章7節)これが、神からのものです。ということで、皆さんを励ましたいと思います。私たちは、世の光です。マタイの福音書5章14節から16節が告げています。

あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は、隠れることができません。また、あかりをつけて、それを柵の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなた方の父をあがめるようにしなさい。(マタイ5章14節から16節)

このように、神が、平和と平安を与えてくださるのです。そして、神が、あなたに力と愛と慎みの霊を与えてくださっている事実を、今、皆に見られなければなりません。まさに、闇の中の光のように。ちなみに、そのために、あなたが栄光を得るのではなく、神が栄光を得られるのです。大事なのは私たちではなく、神です。見てください。「人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなた方の父をあがめるように」ですから問題は、あなたに神の光があるかどうか。そして、世の光が、あなたの人生に入り、あなたもまた、世の光となっているか? ^{あか}すごいことです。あなたは、聖霊をお持ちですか? ^{あか}ともしびの油を持っていますか? 油がないと、ともしびに灯りを点けることができません。油は、聖霊の型です。あなたは、教会に行かなければならないから行っている、宗教的な人ですか? あなたは、イエスと個人的な関係を持っていますか? あなたは、新しく生まれていますか? 私たちのだれもが、自分の誕生日を祝いたいです。でも、私たちの誕生日には、あまり意味がありません。大きな意味があるのは、私たちの第2の誕生です。しかし、なぜ私たちは、その日のことを覚えもせず、祝いもしません。しかし、第二の誕生は最も重要です。第一の誕生ではなく。イエスは、あなたを新しく造られたものにし、そして、新しいいのちを与えてくれました。彼が、彼の血によって、あなたをエジプトから贖われたのです。彼は良い羊飼いで、あなたの名前を知っています。神の使いが彼らの前を進んで、紅海を渡った時、彼は、そこにいました。彼らがヨルダン川を横切る時、彼はそこにおられました。彼らが敗北した直後、彼らは、自分たちのためにそこにいてくださった、主の使いに出会いました。もちろん、彼はその場にいました。ダニエルの火の炉を通った時。覚えておいてください。王は、三人しか送っていないのに、四人見ました。彼は、そこにおられました。イスラエルの復興を約束してくださった方。彼が、私たちの安全であり、彼が、私たちの平和です。ヨハネの福音書16章33節で、イエスは言われました。

わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。

ところで、このウィルスは、世の患難の一部です。

しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。(ヨハネ16章33節)

聖書はローマ人への手紙10章11節から13節で言っています。

彼に信頼する者は、失望させられることがない。ユダヤ人とギリシヤ人との区別はありません。同じ主が、すべての人の主であり、主を呼び求めるすべての人に対して恵み深くあられるからです。「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」のです。(ローマ10章11節)

預言者ヨエル3章32節が告げています。詩篇145編は言います。

主を呼び求める者すべて、まことをもって主を呼び求める者すべてに主は近くあられる。まことをもって主を呼び求める者“すべて”。また主を恐れる者の願いをかなえ、彼らの叫びを聞いて、救われる。主は、主を愛するすべての人を守られる。彼は全ての邪悪な者を滅ぼされる。(詩篇145編18節から20節)

これは、確実に成就される、もうひとつの約束です。だから、あなたは確実にその平和を得るようにしてください。そして、神が栄光をお受けになるように。そして、覚えていてください。恐怖は、この危機の最大の敵です。恐怖によって、神の約束を忘れてしまいます。恐怖は、あなたから慎みの霊を奪います。恐怖は、あなたから愛を奪います。恐怖は、あなたから力を奪い、恐怖があなたを麻痺させるのです。そして皆さん、言っておきますが、これはまさに信者と未信者との違いです。あなたには、その平安がありますか？私たちには、その力はあるでしょうか？あなたには、主だけが与えることのできる、その愛、その慎みの霊がありますか？なぜなら、その恐怖は神からのものではありません。

父よ、あなたのメッセージに感謝します。預言者イザヤに感謝します。彼は、ひどい死に方をしましたが、彼は、聖霊を通して彼に約束されたイスラエルの故国への帰還を見ていないかもしれませんが、彼は、千年王国が始まる前に、自分も復活することを、絶対的に確信していました。父よ、イザヤの言葉を感謝します。慰めと平安に感謝します。父よ、あなたが私たち全員にくださった約束に感謝します。このウィルス騒動よりも、ずっと酷い状況の中でも、あなたは言われます。「恐れるな。わたしがあなたと共にいる」私たちが海の中を歩いていた時、私たちが川を渡った時も、私たちが火の中にいた時にも、主がそこにいてくださったのなら、今は、どれほど共にいてくださるでしょうか。仮にもし、コロナウィルスのようなものが私たちの中にあっても。父よ。詩篇91章の言葉を祈ります。あなたがその驚くべき平安の中で私たちを守って下さるように。

千人が、あなたのかたわらに、万人が、あなたの右手に倒れても、それはあなたには、近づかない。

(詩篇91章7節)

お父様、私は本当に信じています。このような時のために、我々イエスを信じる者は、世の光となるように召されています。机の下に隠れることなく、それを輝かせ、私たちの中にあるその光を、だれも見るように。そして、天におられる私たちの父をほめたたえますように。私たちは、あなたに感謝し、あなたをほめたたえます。あなたの大いなる贖いと救いのみわざ、それは、イエスによってのみなされ、成し遂げられました。私たちの平和であり、私たちの救いであるイエシュアご自身。彼こそが、私たちに力・愛・慎みの霊を与えてくださる方です。

主の御名において祈ります。

アーメン

ありがとうございます。

Godblessyou!そしてシャローム。



メッセージby AmirTsarfati/BeholdIsrael:<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル日本語YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.04.10(Fri)